

Q 川のまちネットワーク会議の内容は。

A 五霞町、境町、野田市の3市町で構成し、川に関する事業を展開していくものです。

Q 主な事業内容は、3市町での防災に関する協定、圏央道を中心とした3市町共通のまちづくり、交流拠点を中心とした観光振興を図ることを検討し、具体化していくものです。

Q 庁舎内電算システムの契約は複数年契約とのことだが、契約期限はいつまでか。また現在使用しているパソコンの台数は。

A 電算システムの契約は基本的に5年契約となっており、平成25年8月までの契約となっています。また、現在115台のパソコンを使用しています。

Q 町内約3割の組合

未加入世帯への「広報ごか」の配布方法は。

A 行政区のあり方検討委員会の中で、今後検討していきます。

Q 男女共同参画事業の内容は。

A 毎年1回、講演会という形で開催しており、2月26日に開催しました。概ね70名の方々が参加されました。

Q 現在の老人クラブ連合会の実態はどのようになっているか。

A 現在の会員数は380人ですが、年々減少傾向にあります。今後は事務局と調整を図りながら対策を考えていきます。

Q 税の徴収が不能になった場合、最終的にはどのように処理するのか。

A 納税の出来るような所得がない場合、あ

るいは差し押さえする資産等もない場合には、督促等は停止します。そこから5年たつと不能欠損という処理になります。

Q ミニ・シルバー人材センター会員の就業率と業務内容は。

A 会員の就業率は92%となっています。業務内容は主に一般家庭からの草刈りや垣根刈り等で、一般企業からも発注があります。

Q 猿島郡医師会から寄付のあった500万円の用途は。

A 医師会からは、是非教育関係に使用して欲しいとのことですので、教育委員会と検討し、有効に使わせていただきたいと思っています。

Q 延長保育促進事業で五霞・川妻両保育園に補助をしているが、

利用人数とその負担割合はどのようになっていくのか。

A 22年度実績では実人員として五霞保育園で約10名、川妻保育園で約3名利用がありました。両保育園への補助交付の負担割合は、県が3分の2、残り3分の1を町が負担しております。

Q 経済センサス活動調査事業の内容は。

A 町内にある製造業、商業等の事業所を把握し、売上高、仕入先、仕入額等の実際の調査をするものです。

Q IC周辺地区測量等業務委託費5170万円の内訳は。

A 地区界測量、基本設計・事業計画の策定、文化財発掘調査の業務を行う費用です。

Q 学校給食費の未納額はどのくらいか。

A 平成22年度末で、現年度・過年度（過去7年分）合わせまして、245万9480円が未納額になっています。

Q 国民健康保険税の収納率が4・8%低下した理由は。

A 景気低迷により、国保加入者の所得が低下してきたものと思われます。

Q 特別養護老人ホーム「きららの杜」への入所待機者数は。

A 約50名の待機者がおり、そのうち12名の方が町内の方です。

Q 介護給付サービスの利用状況は。

A 平成24年3月現在、介護認定者数は323名で、このうち介護給付サービスを利用されている方は、269名で83・3%の給付利用率です。

Q 堤防強化事業で移転に伴う管渠布設工事は何件実施したか。

A 全体で7件の補償工事を行っています。

Q 現在の南摩ダム建設の進捗状況は。

A ダム分の用地取得が98%、道水路関係は100%、80世帯の家屋移転が100%、31戸ある代替地造成が100%、県道のつけかえが63%、県道改良が95%。工事全体の進捗率としては44%になっています。

Q 上下水道、農業集落排水、公共下水道の各公共料金の滞納状況は。

A 各料金とも現年度と過年度を合わせたものになりますが、上下水道が973万5000円、農業集落排水が160万5000円、公共下水道が563万8000円です。